

九州新幹線部分開業時の集中押印実郵便

石原 正

平成16年(2004年)3月13日の九州新幹線部分開業に際して、鹿児島県のふるさと切手「九州新幹線つばめと桜島」が、開業日前日の3月12日に発行されました。当時の会報81号によると、このとき鹿児島中央局に集中押印センターが設けられ、沿線5局の開業記念小型印が使われました。

このとき鹿児島中央局では、この切手のシートを納めた「たとう」に上記の切手を5枚貼って5種の小型印を1個ずつ押したものを、切手の額面通りの1250円で販売しました。右の紹介品は、一般の封筒を使って同様に集中押印した実郵便です。

切手の額面が50円なので、これでは実郵便として差し立てることができない(4印は記念押印、5印目の鹿児島中央局が引受押印)、ということになりそうですが、郵便で本品を作成した方はその点を心得ていて、封筒裏面には30円普通切手が貼られています。表側の50円切手1枚と合わせて、必要料金分の切手を貼っていることになりますね。

ところが... せっかくの30円切手には押印されないまま、宛先に届けられてしまいました(スペースの都合で写真は省略)。現場が多忙であったため、見落としてしまったということでしょう。

なお九州新幹線ですが、7年後の全線開業時には部分開業時のような集中押印は実施されず、代わりにスタンプラリーが実施されました(→会報163・164号)。(編)

